

プレゼンテーション教育のルーブリック評価表(2013年度β 版)

	テーマ	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
1	声	普段通りに話している	声を大きくしようと意識を持つ	声が大きくて聞き取りやすい	声が大きいくともにはっきりと話していて、しっかり伝わる
2	アイコンタクト	画面だけしか見ていない	聴衆に目を向けることがあるが、画面を見る時間が長すぎる	画面と聴衆、バランスよく見ながら話すことができる	画面よりも聴衆を見ることの方が多く、目を見て話せる
3	ジェスチャー	まったくジェスチャーを入れて話さない	話の中でジェスチャーを入れることがある	強調したい部分にジェスチャーを入れて話せる	常に相手に伝える為にジェスチャーを入れながら話せる
4	話し方	終始早口になってしまった状態で話している	緊張してしまい、早口になって話していることが多いが、ゆっくり話そうとする姿勢が見られる	ゆっくり話せるが、時々早口になる	相手に伝えようとするようにゆっくりと丁寧に話せる
5	聴衆への配慮	聴衆のことは考えず、自分が話したいように話している	聴衆が解りづらい箇所には、話を少し付け足して話すことができる	聴衆みんなが理解できるように気を遣いながら話すことができる	聴衆に対して、わかりづらいかを尋ねながら話すことができる
6	声のトーン	声のトーンを変えずに話している	一定のトーンで話を進めるが、一番大事なポイントだけにはトーンを変えることができる	常にスライドの中で強調したい部分にトーンを変えて話すことができる	発表で常にトーンを変えながら話すことができるだけでなく、質疑応答もトーンを変えて話せる
7	画面	相手を見る余裕がなく画面だけを見ている	画面に集中してしまう時間が多いが、聴衆に目を向けようとする姿勢も見られる	画面を見る時間は少なく、聴衆を見ながら話すことができる	ほとんど画面を見ることなく話すことができる。話すときは相手を常に見てる。
8	アイデア	スライドにアイデアがほとんど入っていない	決められた分のスライドを作り、適度にアイデアを入れている	すべてのスライドに考えたアイデアが入っている。まとめ方も簡潔で解りやすい	他の人が考えつかないようなアイデアを入れており、スライドすべてに盛り込まれている
9	絵や写真の導入	文だけでスライドを作っている	ほぼ文だけのスライド構成だが、写真を取り入れているスライドがある	文と写真のバランスが良く、聴衆に伝わりやすいスライドになっている	説明が文だけでは足りない箇所に確実に写真が入っており、聴衆に伝わるスライド
10	グラフ	数値データに対してグラフを用いていない	数値データを入れた際に、グラフを付け足すことができる	グラフを入れているだけでなく、比較ができるように色分けをすることで配慮ができる	グラフは色分け、大きさの調整がされており、グラフの説明文も導入されている

11	前後の比較	現在の情報のみを使用したスライド構成	過去の情報と現在の情報が比較されている 写真が入れてある	過去と現在の比較を入れるとともに、 新たなアイデアをスライドに描かれている	過去と現在の比較を写真と文で表現する だけでなく、変わったことの良い点、悪い点 が記されている
12	大きさやフォント	文字の大きさとフォントが統一さ れていない	大きさは統一されているが、フォ ントにばらつきがある	大きさとフォントを統一することができている	文字の大きさは聴衆が見やすい的確なサイ ズになっており、フォントも均等にされて いる
13	引き付ける内容	わかりづらい表現が多く、聴衆に 伝わりづらい内容	スライドとしては、最低限完成さ れたものである	文や写真を入れて、調べた小ネ タを取り入れる工夫がされている	文や写真を取り入れるだけでなく、調べた 情報を付け足したり、皆が知っていることを 入れている
14	簡潔にまとめる	短い文でまとめられておらず、長 い文でまとめられている	相手に伝えようとするために、文が長くなっ てしまっている	文の長さはちょうどいいが、内容が薄いも のになっている	的確な文の長さ、言葉選びが完璧で、伝わり やすく簡潔にまとめられている
15	発表の雰囲気	聴衆に意見を求めず、自分が話 したいことだけを話している	聴衆に質問がないかを尋ねること ができる	聴衆からの反応があればそれに上手く返 すことができる	聴衆に意見を求めて、考えている意見をそ の場で言うことで、発表を盛り上げることが できる
16	質疑応答	質疑応答で聞かれてもわかりま せんと答える	質問されたら、分かりませんとは言わず に、何か考えて発言できる	調べた情報と自分の考えを駆使して、相手 に伝えることができる	質問者に丁寧に対応でき、納得 してもらえるように発言をすることができる
17	ユーモア	プレゼンをただ読んで発表する状態	聴衆に向けてリラックスした状態で話すこ とができる	堅苦しくスライドをするだけでなく、たまに は冗談も言うことができる	リラックスした状態で、真剣に伝えたい部 分は力を入れ、ユーモアを的確な箇所 で入れて話せる
18	発表の準備	準備を計画的に考えることができる	計画通りに準備をしていくことができる	準備してきたことを最大限に発揮して発表 することができる	相手が質問してきそうなことまで予想し、隅 から隅まで情報を集め、発表することがで きる
19	情報力	質疑応答で聞かれそうな質問を 予測することができる	聞かれそうな質問について、情報を集め、 準備することができる	どこを聞かれてもいいようにまんべんなく 情報を集めておくことができる	どの箇所に対しても不備なく情報を集めて おり、質疑応答で聞かれても、柔軟に対処 ができる
20	場の空気	聞いている人を見ることができる	聞いている人が興味を持っているかを判断 することができる	聞いている人が興味を持つように話を工夫 し、表情を見ながら話すことができる	聞いている人を常に確認することができ、 分かってなさそうなら声の大きさやトーンを その場で変える事ができる